



お年寄りを笑顔にさせる

コンビニ劇団

練習の様子(11/13)



団らん中に強盗が入ってくるシーン



家族の前で財布からお金を盗むシーン



強盗から脅かされているシーン

「コンビニ劇団」の前身である「劇団三人」は平成7年に敬老会の催し事として、代表の西田さんが仲間と共にコントをされたのが始まりです。その後活動は休止されていきましたが、平成23年に3人で「劇団三人」を結成されました。現在は新メンバーも加入され、「コンビニ劇団」と改名し、50〜70歳の7人で活動されています。

活動では、年に約20回、市内外のふれあいサロンや高齢者福祉施設などに出張され、30分間の劇やコントを催されます。また1時間出演の場合は、劇やコントのほか、銭太鼓やスコップ三味線、腹話術や踊り、NHKのど自慢に合格された方の歌など、個性豊かなメニューの一芸が練り上げられます。練習は月に2回ほど、園部公民

館で行われています。劇やコントのネタは代表の西田さんが毎年1本作られ、これまでに6作品を生み出してこられました。「一度行ったサロンでは、同じネタをやらない」と、お客さんを楽しませようとした配慮をされています。

「これからの高齢社会を思うと、お年寄りの皆さんに笑ってもらって、健康になつてもらいたい」「ど



▲摩気高山の郷文化祭での演劇の様子(11/25)

地域のサロンに出張します

劇やコントをして、皆さんに楽しんでもらうサークルです。区のサロンや高齢者福祉施設などにも出張出演しています。

“コンビニ感覚”でお気軽に呼んでください。ご希望される場合は、下記までご連絡ください。

《問い合わせ先》

南丹市社会福祉協議会園部事務所
TEL : (0771)62-4125

んな良薬よりも健康には笑いが一番」と西田代表は話します。「人を怒らせることは簡単だが、笑わせることは本当に難しい。笑ってもらうことで、脳の活性化に貢献させていきたいと思います」と笑いながらメンバーはおっしゃいました。また、「自分の劇が上手くなったときやお客さんに喜んでもらえたときにやりがいを感じる」「出演の緊張感と無事終わったときの安心感が自分のボケ防止に役立っている」「お客さんから元気をいただいている」など、口々にやりがいをおっしゃいました。

「今後もいろんな会場で長く続けていきたい」と願う西田代表。明るく、ゆかいな「コンビニ劇団」の活動は、高齢者の皆さんに楽しみを届けられています。